「松前牛」が食べられる日も遠くない！

新たな取り組み！　肉牛（にくうし）改良センター

肉牛改良センターの牛舎外観

食の欧米化が進み、各家庭の食卓でも欠かせない食材となった牛肉。日本で飼育されている肉用種の牛は、一般的には和牛と呼ばれ、国内では主に４種類が飼育されています。

そのうち、松前町では主に**黒毛和種**の牛が飼育されています。

黒毛和種ってどんな牛？

日本の肉用種のうち約95％を占める日本原産の肉用牛です。特徴はいわゆる「霜降り牛肉」で、肉質は世界最高といわれ、海外にはない牛肉となっています。

現在、松前町では黒毛和種の繁殖牛２３１頭が飼育されています。

※頭数は令和２年２月現在

肉牛改良センターはなんのために作られたの？

肉牛改良センター（札前）は、子牛の安定供給と受精卵による黒毛和種の改良や研修機能を活かした人材の育成を行うことで、生産基盤強化や新規就農者の確保を目的に建設されました。

また、肉牛改良センターで生産された子牛は基本的に畜産農家へ供給されますが、供給体制が確立した後は、肥育（ひいく）牛※の生産や商品化を行い、ゆくゆくは**松前牛**としてブランドを全国に発信し、肉牛改良センターの持つ機能が人口流出の抑制やイベントの開催などによる人の流れを作り出し、松前町全域の活性化を推進する拠点となることを目指しています。

※食肉用に育てられる牛

具体的にどんな施設なの？

肉牛改良センターには、牛舎、保管庫、管理棟の３つの施設があります。

それぞれの施設の一部を紹介します。

■牛舎

▽繁殖房

牛が自由に歩き回れる構造になっている「フリーバーン式」で作られた房で、１つの房に５～６頭が収容できます。

▽分娩房

分娩時の事故を防ぐために、分娩予定日が近い牛を１頭ずつ管理することができます。

繁殖房

▽**育成房**
　生まれた子牛は離乳後、育成房に集団で管理し、ストレスフリーな環境で出荷まで育成されます。
▽**給餌通路**
　各房側面に設けられた通路で、ここに餌となる牧草を置きます。各房の側面には、牛が1頭ずつ餌を食べられるように仕切るための柵が設けられています。

給餌通路の餌を食べる

■保管庫
　牛の餌となる草を乾燥させた乾牧草を保管するための施設です。

■管理棟
▽**処置室**
　受精卵を、牛から採卵する時に牛を安全に保定するための枠が設けられた部屋です。
▽**検卵室**
　受精卵作出のため、採卵後の処置をする部屋で、これを検卵といいます。検卵後、凍結処理を行うことができる施設です。

検卵室

鈴木直道北海道知事が肉牛改良センターを視察！
　2月19日、鈴木直道知事が、知事の地域訪問「なおみちカフェ」事業で肉牛改良センターを訪れました。
　職員から説明を受けた後、実際に管理棟や牛舎を視察した鈴木知事は、「連携を取りながら応援していきたい」と期待を込めて話されていました。

牛舎を視察する鈴木知事

研修生を募集中です！
　肉牛改良センターでは、松前町で肉牛経営を目指す強い意欲と情熱を持っている方を募集しています！
　研修では肉牛経営に必要な知識や技術を学ぶことができるうえ、研修後も新規就農の支援を行っています。

研修内容
■**肉牛の飼養管理**
　肉牛の栄養状態に注意し、給餌や除フン等の管理を行います。
■**子牛の生産**
　分娩予定日が近い牛は分娩房で個別に管理し、分娩介助を行います。
■**家畜市場に出品**
　生産された子牛を約300日齢程度、育成を行い、家畜市場に出品します。
■**受精卵の生産**
　優良な繁殖牛から採卵を行い、生産された受精卵を生移植もしくは凍結処理を行います。

新規就農支援
■**繁殖素牛の確保**
　研修中から肉牛改良センターで生産された子牛を繁殖素牛として優先的に購入することができます。
■**乾牧草代金の免除**
　町で生産された乾牧草の代金が免除になります。
（年間最大20頭を限度とし、1日当たり1頭につき10kgまでとする）
■**牧野使用料の免除**
　町で行っている放牧事業の使用料が免除になります。
※乾牧草代金および牧野使用料の免除は、牛を導入した日から3年間とする。